



全病院が情報を提出

「日本人に多いがん」が増えていくがん「減っているがん」「死亡比率が高いがん」―がんについては、ほかの病気と比べて詳しい情報が報道されています。この

長野県は「がん」にかかる人の割合が少ない―と聞いたことがあ
る人もいると思います
こうしたがんについての
情報がどのように集
められ、統計処理され
ているか、皆さんはこ
存でしょうか。



荒井 ゆかり

がんセンター事務室係
長（診療情報管理士）

がんの情報は、法律に
基づいて国内の全ての
病院に収集と提出が義
務付けられており、が
んの診断、治療、生存
確認情報まで細かな情
報が集約されています。
日本では過去に特

定の病気に関する国内
全ての情報が集められ
た例はなく、がん登録
が初めての取り組みで
す。

がんは、腫瘍のできる
場所（部位）、腫瘍の性
格（形態）などが多種
多様で、研究途上の病
気でもあります。新薬
や治療機器の開発によ
って治療法は選択肢は
多くなっています。増え

率（がんにかかった人
の割合）や死亡率は低
くない病気です。
どんな患者さんのど
こに、どんながんが、
どのくらいの進み具合
で見つかったのか、ど
んな治療をしたのか、
さらに3年、5年、10
年後の生存状況はどう
なっているのか―など
の細かい情報を集める
ことが、これからのが
ん治療や予防に役立
てられるのです。

道の情報源になってい
るほか、地域のがん診
療体制を充実させるた
めにも役立てられてい
ます。治療や治療後
の経過観察に長い期間を
要することが多いがん
に対し、全国どこに住
んでいてもがんの標準
的な専門医療を継続的
に受けられるように、
がん診療を行う病院を
適切に配置することも、
がん対策の一つです。

がん登録



がん診療の向上へ 全国の情報を集約

さまざまながん対策に
がん登録で集められ
た情報は、地域別や病
院別のがん件数などの
統計にも使われており
これが皆さんがよく目
にするがんに関する報

がん登録については、
国立がん研究センター
の「がん情報サービス」
のホームページで詳し
く知ることができます。
またページ内の「結果
閲覧システム」で、誰
でも集計結果を検索す
ることができます。